

(様式2(1))

事業所名 幼老の郷 グループホームおっこう山

作成日: R5年 3月 29日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	権利擁護に関する制度のニーズは増々高まっていくと考えられます。今後も専門家によるものも含めて研修を継続され、職員の理解を深めていかれることを期待します	あんしんすこやかセンターと連携し、外部講師を招き、権利擁護の研修を実施する。	あんしんすこやかセンターと連携し、職員・利用者家族・地域の方が参加できる研修を行う。運営推進会議や家族会等の会議後に研修会を計画する。	12ヶ月
2	22	感染防止の為に外出行事やこども園との屋外での交流は抑制してきました。コロナ感染が収束したら、入居者が喜ぶ多彩な外出行事を企画されることを期待します。	家族との過ごす時間や地域にでかける機会を作り、楽しみのある日々を過ごしてもらおう。	家族参加の行事や外出する行事を年間で計画する。感染状況に合わせて実行に移していく。	12ヶ月
3	2	隣接するこども園とは感染防止のため直接交流する機会が限られていました。コロナ禍が収束した暁には、温めていた企画を含めて多様な交流活動に取り組まれることを期待します。	こども達との直接交流ができる機会を作る	こども達と一緒に神出町を散歩したり、朝の体操を一緒に行う等、日々の活動の中での交流する機会を作る。行事をこども園と一緒に計画し、実施していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。